

(別記様式第 1 号)

|        |         |
|--------|---------|
| 計画作成年度 | 令和 6 年度 |
| 計画主体   | 三春町     |

# 三春町鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担 当 部 署 名 福島県三春町産業課農林グループ  
所 在 地 福島県田村郡三春町字大町 1-2  
電 話 番 号 0 2 4 7 - 6 2 - 2 1 1 2  
F A X 番 号 0 2 4 7 - 6 1 - 1 1 1 0  
メールアドレス norin@town.miharu.lg.jp

- (注) 1 共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記入する。
- 2 被害防止計画の作成に当たっては、別添留意事項を参照の上、記入等すること。

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

|      |                   |
|------|-------------------|
| 対象鳥獣 | イノシシ・ハクビシン・ツキノワグマ |
| 計画期間 | 令和7年度～令和9年度       |
| 対象地域 | 三春町               |

(注) 1 計画期間は、3年程度とする。

2 対象地域は、単独で又は共同で被害防止計画作成する全ての市町村名を記入する。

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状 (令和5年度)

| 鳥獣の種類  | 被害の実績 (千円) |             |
|--------|------------|-------------|
|        | 品 目        | 5 年度        |
| イノシシ   | ・ 水稻       | 6 8 6 . 9   |
|        | ・ 野菜       |             |
|        | じゃがいも      | 2 4 4 . 7   |
|        | さつまいも      | 3 8 0 . 6   |
|        | かぼちゃ       | 6 8 . 3     |
|        | 計          | 1 3 8 0 . 6 |
| ハクビシン  | ・ 野菜       |             |
|        | とうもろこし     | 1 5 . 7     |
|        | トマト        | 2 0 1 . 1   |
|        | きゅうり       | 9 4 . 5     |
|        | ・ 果樹       |             |
|        | りんご        | 1 2 6 . 8   |
|        | 計          | 4 3 8 . 3   |
| ツキノワグマ |            | 0 . 0       |
|        | 計          | 0 . 0       |
| 合 計    |            | 1 8 1 8 . 9 |

| 鳥獣の種類 | 被害の実績 (a) |      |
|-------|-----------|------|
|       | 品 目       | 5 年度 |
| イノシシ  | ・ 水稻      | 5 9  |
|       | ・ 野菜      |      |
|       | じゃがいも     | 1 7  |
|       | さつまいも     | 8    |
|       | かぼちゃ      | 4    |
|       | 計         | 6    |

|        |        |   |
|--------|--------|---|
| ハクビシン  | ・ 野菜   |   |
|        | とうもろこし | 1 |
|        | トマト    | 1 |
|        | きゅうり   | 1 |
|        | ・ 果樹   |   |
|        | りんご    | 3 |
|        | 計      | 6 |
| ツキノワグマ |        | 0 |
|        | 計      | 0 |
| 合 計    |        | 6 |

(注) 主な鳥獣による被害品目、被害金額、被害面積（被害面積については、水産業に係る被害を除く。）等を記入する。

## (2) 被害の傾向

- ・ イノシシによる被害は、町内全域で発生している。  
主な農作物被害は、水稻、いも類等の食害であり、春の作付け時期や秋の収穫時期にかけて被害が多く発生している。  
また、農作物被害のみでなく、水田畦畔の掘り起こし等の被害も発生しているほか、公衆用道路、住宅地周辺での目撃が多く報告されており、人的被害の発生も懸念されている。
- ・ ハクビシンによる被害は、町内全域で発生している。  
主な農作物被害は、トマト等の食害であり、収穫時期（7月～9月）にかけて被害が多く発生している。  
また、出荷を目的としない家庭菜園等への被害も多いほか、住宅地周辺での出没や家屋に棲みつく個体もあり、生活環境に関わる被害も発生している。
- ・ ツキノワグマによる被害は、確認されていないが、目撃情報が増えており、今後被害が発生する恐れがある。

- (注) 1 近年の被害の傾向（生息状況、被害の発生時期、被害の発生場所、被害地域の増減傾向等）等について記入する。
- 2 被害状況がわかるようなデータ及び地図等があれば添付する。

## (3) 被害の軽減目標

### ①被害金額（千円）

| 指標     | 現状値（令和5年度） | 目標値（9年度） |
|--------|------------|----------|
| イノシシ   | 1 3 8 0    | 9 6 6    |
| ハクビシン  | 4 3 8      | 3 0 7    |
| ツキノワグマ | 0          | 0        |
| 計      | 1 8 1 8    | 1 2 7 3  |

②被害面積（a）

| 指標     | 現状値（令和５年度） | 目標値（９年度） |
|--------|------------|----------|
| イノシシ   | ８８         | ６２       |
| ハクビシン  | ６          | ４        |
| ツキノワグマ | ０          | ０        |
| 計      | ９４         | ６６       |

○設定根拠

１年で１割の被害軽減を目指す。（３年間で３割軽減目標）

- （注）１ 被害金額、被害面積等の現状値及び計画期間の最終年度における目標値を記入する。
- ２ 複数の指標を目標として設定することも可能。

（４）従来講じてきた被害防止対策

|               | 従来講じてきた被害防止対策                                                                                                                                      | 課題                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 捕獲等に関する取組     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・三春町鳥獣被害対策実施隊を設置し、銃器、わなを用いた捕獲を実施している。</li> <li>・新規で狩猟免許を取得する者に対し、狩猟免許取得経費、猟銃等の物品購入経費への支援を実施している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲機材（各種わな及びＩＣＴ技術）を導入し、効率的に捕獲を行う必要がある。</li> <li>・イノシシによる被害が広域化していることから、県、近隣市町村と連携し、捕獲を実施する必要がある。</li> <li>・狩猟者の高齢化が進み、後継者が減少している。狩猟後継者の確保、育成が必要である。</li> </ul> |
| 防護柵の設置等に関する取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気柵の資材購入経費を支援し、地域ぐるみで実施する被害防除を推進している。</li> </ul>                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気柵等による被害防除について、さらに取組みを推進する必要がある。</li> <li>・草刈りや電圧の管理等、電気柵設置後の継続的な適正管理が必要である。</li> <li>・集落ぐるみで被害対策を講じられるような体制づくりが必要である。</li> </ul>                            |
| 生息環境管理その他の取組  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本型直接支払制度の活用により、刈り払い等による遊休農地の発生防止、耕作放棄地の適正管理を実施している。</li> </ul>                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山林（森林）の整備、緩衝帯の設置に関する取組みを強化していく必要がある。</li> </ul>                                                                                                              |

- （注）１ 計画対象地域における、直近３ヶ年程度に講じた被害防止対策と課題について記入する。
- ２ 「捕獲等に関する取組」については、捕獲体制の整備、捕獲機材の

導入、捕獲鳥獣の処理方法等について記入する。

- 3 「防護柵の設置等に関する取組」については、侵入防止柵の設置・管理、追上げ・追払い活動等について記入する。
- 4 「生息環境管理その他の取組」については、緩衝帯の設置、放任果樹の除去、鳥獣の習性、被害防止技術等に関する知識の普及等について記入する。

#### (5) 今後の取組方針

「個体数管理」、「被害防除」、「生息環境管理」を3本の柱とし、総合的な対策を実施することで、有害鳥獣による農作物、住環境等の被害軽減を図る。

- 1 個体数管理
  - ・捕獲（有害捕獲、狩猟等）の実施
  - ・捕獲機材（わな、ICT技術）の導入
- 2 被害防除
  - ・侵入防止柵（電気柵等）の設置、適正管理
- 3 生息環境管理
  - ・遊休農地の発生防止、耕作放棄地の適正管理
  - ・里山林（森林）の整備
  - ・緩衝帯の設置
  - ・放任果樹の除去
- 4 その他
  - ・狩猟後継者、リーダーの育成
  - ・集落ぐるみでの被害対策への移行
  - ・集落環境診断の実施

(注) 被害の現状、従来講じてきた被害防止対策等を踏まえ、被害軽減目標を達成するために必要な被害防止対策の取組方針について記入する。  
(ICT（情報通信技術）機器やGIS（地理情報システム）の活用等、対策の推進に資する技術の活用方針を含む。)

### 3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

#### (1) 対象鳥獣の捕獲体制

鳥獣被害防止特措法第9条第1項に規定する鳥獣被害対策実施隊を設置し、有害鳥獣の捕獲を行う。また、関係機関等と連携を図りながら、効果的な捕獲に取組み、被害軽減を図る。

- (注) 1 鳥獣被害対策実施隊のうち対象鳥獣捕獲員の指名又は任命、狩猟者等の外部団体への委託、わなの見回り補助等による捕獲者のサポート等による対象鳥獣の捕獲体制を記入するとともに、捕獲に関わる者のそれぞれの取組内容や役割について記入する。
- 2 対象鳥獣捕獲員を指名又は任命する場合は、その構成等が分かる資

料があれば添付する。

- 3 捕獲等を推進する上で、被害防止計画に基づく対象鳥獣の捕獲等に  
従事している者にライフル銃を所持させる必要がある場合には、その  
ことについて記入する。

(2) その他捕獲に関する取組

| 年度   | 対象鳥獣                    | 取組内容                                                                                                                                                                                                                                |
|------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年 | イノシシ<br>ハクビシン           | <ul style="list-style-type: none"><li>・捕獲機材（わな、ICT技術）の導入による効率的な捕獲の実施。</li><li>・住民、団体等からの情報収集、被害状況の分析。</li><li>・近隣市町村との情報交換</li><li>・捕獲技術向上のための研修会等への参加。</li><li>・広報誌の作成、配布による狩猟免許試験の情報提供、免許取得推進。</li><li>・新規狩猟免許取得者に対する支援</li></ul> |
| 令和8年 | イノシシ<br>ハクビシン<br>ツキノワグマ | <ul style="list-style-type: none"><li>・捕獲機材（わな、ICT技術）の導入による効率的な捕獲の実施。</li><li>・住民、団体等からの情報収集、被害状況の分析。</li><li>・近隣市町村との情報交換</li><li>・捕獲技術向上のための研修会等への参加。</li><li>・広報誌の作成、配布による狩猟免許試験の情報提供、免許取得推進。</li><li>・新規狩猟免許取得者に対する支援</li></ul> |
| 令和9年 | イノシシ<br>ハクビシン<br>ツキノワグマ | <ul style="list-style-type: none"><li>・捕獲機材（わな、ICT技術）の導入による効率的な捕獲の実施。</li><li>・住民、団体等からの情報収集、被害状況の分析。</li><li>・近隣市町村との情報交換</li><li>・捕獲技術向上のための研修会等への参加。</li><li>・広報誌の作成、配布による狩猟免許試験の情報提供、免許取得推進。</li><li>・新規狩猟免許取得者に対する支援</li></ul> |

(注) 捕獲機材の導入、鳥獣を捕獲する担い手の育成・確保等について記入する。

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

| 捕獲計画数等の設定の考え方                                                 |
|---------------------------------------------------------------|
| 「福島県第13次鳥獣保護管理事業計画」、「福島県イノシシ管理計画」、「福島県ツキノワグマ管理計画」の基準により捕獲を行う。 |

(注) 近年の対象鳥獣の捕獲実績、生息状況等を踏まえ、捕獲計画数等の設定の考え方について記入する。

| 対象鳥獣   | 捕獲計画数等                                         |                                                  |                                                  |
|--------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
|        | 令和７年度                                          | 令和８年度                                            | 令和９年度                                            |
| イノシシ   | 「福島県第１３次鳥獣保護管理事業計画」及び「福島県イノシシ管理計画」の基準により捕獲を行う。 | 「福島県第１３次鳥獣保護管理事業計画」及び「福島県イノシシ管理計画」の基準により捕獲を行う。   | 「福島県第１３次鳥獣保護管理事業計画」及び「福島県イノシシ管理計画」の基準により捕獲を行う。   |
| ハクビシン  | 福島県第１３次鳥獣保護管理事業計画の基準による。捕獲目標１００匹               | 福島県第１３次鳥獣保護管理事業計画の基準による。捕獲目標１００匹                 | 福島県第１３次鳥獣保護管理事業計画の基準による。捕獲目標１００匹                 |
| ツキノワグマ |                                                | 「福島県第１３次鳥獣保護管理事業計画」及び「福島県ツキノワグマ管理計画」の基準により捕獲を行う。 | 「福島県第１３次鳥獣保護管理事業計画」及び「福島県ツキノワグマ管理計画」の基準により捕獲を行う。 |

(注) 対象鳥獣の捕獲計画数、個体数密度等を記入する。

| 捕獲等の取組内容                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>捕獲方法:イノシシ 銃器、箱わな、くくりわな<br/> ハクビシン 銃器、箱わな<br/> ツキノワグマ 銃器、箱わな</p> <p>捕獲時期:年間を通じて行う。</p> <p>捕獲場所:農作物被害が大きい地区について重点的に実施する。<br/> 銃器による捕獲は、見通しの良い場所に限り、安全性を確保したうえで行う。</p> <p>捕獲実施:地域住民と情報交換を行いながらを行う。</p> |

(注) １ わな等の捕獲手段、捕獲の実施予定時期、捕獲予定場所等について記入する。

２ 捕獲等の実施予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

| ライフル銃による捕獲等を実施する必要性及びその取組内容 |
|-----------------------------|
| なし                          |

(注) 被害防止計画に基づく対象鳥獣の捕獲等に従事している者にライフル

銃を所持させて捕獲等を行う場合には、その必要性及び当該被害防止計画に基づく対象鳥獣の捕獲等に従事している者による捕獲手段、捕獲の実施予定時期、捕獲予定場所等について記入する。

(4) 許可権限委譲事項

| 対象地域 | 対象鳥獣 |
|------|------|
|      |      |

- (注) 1 都道府県知事から市町村長に対する有害鳥獣捕獲等の許可権限の委譲を希望する場合は、捕獲許可権限の委譲を希望する対象鳥獣の種類を記入する（鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号。以下「法」という。）第4条第3項）。
- 2 対象地域については、複数市町村が捕獲許可権限の委譲を希望する場合は、該当する全ての市町村名を記入する。

4. 防護柵の設置等に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

| 対象鳥獣 | 整備内容                               |                                    |                                    |
|------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
|      | 令和7年度                              | 令和8年度                              | 令和9年度                              |
| イノシシ | 被害の顕著な地域において電気柵2段を設置。<br>5,000m×2段 | 被害の顕著な地域において電気柵2段を設置。<br>5,000m×2段 | 被害の顕著な地域において電気柵2段を設置。<br>5,000m×2段 |

- (注) 1 設置する柵の種類、設置規模等について記入する。
- 2 侵入防止柵の設置予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

(2) 侵入防止柵の管理等に関する取組

| 対象鳥獣 | 取組内容                                                                                                                                                                            |       |       |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
|      | 令和7年度                                                                                                                                                                           | 令和8年度 | 令和9年度 |
| イノシシ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌の作成、配布による被害防除、生息環境管理の情報提供、取組推進。</li> <li>・侵入防止柵の適正管理のための研修会等への参加。（町職員及び地域住民含む）</li> <li>・集落ぐるみで設置する侵入防止柵（電気柵）の資材購入に対する支援。</li> </ul> |       |       |

- (注) 侵入防止柵の管理、追上げ・追払い活動等に関する取組等について記入する。

5. 生息環境管理その他被害防止施策に関する事項

| 年度   | 対象鳥獣                    | 取組内容                                                                                                                                                                                                                  |
|------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年 | イノシシ<br>ハクビシン           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区住民や集落、また猟友会へ情報収集や提供を行い、生息環境状況の把握に取り組む。</li> <li>・ 生ゴミや放任果樹、農作物残渣等の適切な処理状況調査。</li> <li>・ 侵入防止策以外の被害防止のための先進事例の研究。</li> <li>・ 被害防除、生息環境管理の適正な実施のための研修会等への参加。(町職員)</li> </ul> |
| 令和8年 | イノシシ<br>ハクビシン<br>ツキノワグマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区住民や集落、また猟友会へ情報収集や提供を行い、生息環境状況の把握に取り組む。</li> <li>・ 生ゴミや放任果樹、農作物残渣等の適切な処理状況調査。</li> <li>・ 侵入防止策以外の被害防止のための先進事例の研究。</li> <li>・ 被害防除、生息環境管理の適正な実施のための研修会等への参加。(町職員)</li> </ul> |
| 令和9年 | イノシシ<br>ハクビシン<br>ツキノワグマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区住民や集落、また猟友会へ情報収集や提供を行い、生息環境状況の把握に取り組む。</li> <li>・ 生ゴミや放任果樹、農作物残渣等の適切な処理状況調査。</li> <li>・ 侵入防止策以外の被害防止のための先進事例の研究。</li> <li>・ 被害防除、生息環境管理の適正な実施のための研修会等への参加。(町職員)</li> </ul> |

(注) 緩衝帯の設置、里地里山の整備、放任果樹の除去、被害防止に関する知識の普及等について記入する。

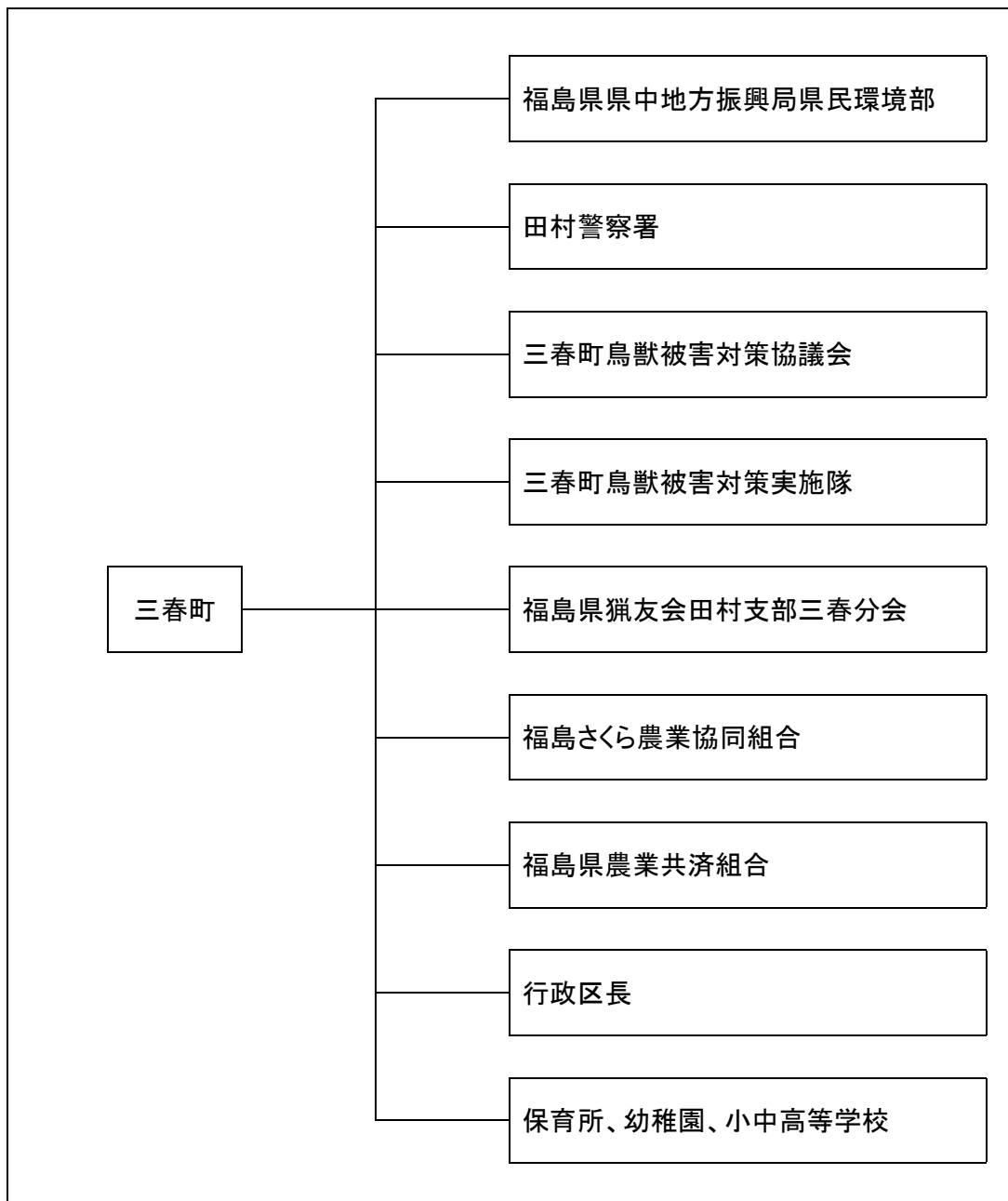
6. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

(1) 関係機関等の役割

| 関係機関等の名称        | 役割                                                 |
|-----------------|----------------------------------------------------|
| 三春町             | 情報収集、現地調査<br>関係機関との連絡調整、情報提供<br>防災行政無線等による住民への注意喚起 |
| 三春町鳥獣被害対策協議会    | 関係機関との連絡調整、情報提供                                    |
| 三春町鳥獣被害対策実施隊    | 現地調査、捕獲                                            |
| 福島県猟友会田村支部三春分会  | 現地調査、捕獲                                            |
| 福島県県中地方振興局県民環境部 | 関係機関との連絡調整、情報提供                                    |
| 田村警察署           | 現地調査、住民の避難誘導                                       |
| 福島さくら農業協同組合     | 関係機関との連絡調整、情報提供                                    |
| 福島県農業共済組合       | 関係機関との連絡調整、情報提供                                    |

- (注) 1 関係機関等には、都道府県、警察、市町村、鳥獣被害対策実施隊、  
猟友会等の名称を記入する。
- 2 役割欄には、緊急時又は平常時において、各関係機関等が果たすべ  
き役割を記入する。
- 3 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、  
又は生じるおそれがある場合の対処に関して、規程等を作成している  
場合は添付する。

(2) 緊急時の連絡体制



(注) 緊急時の各関係機関等の連絡体制及び連絡方法等をフロー図等により  
記入する。

7. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

埋設又は、一般廃棄物処理施設での焼却により処理を行う。  
有害捕獲、狩猟、指定管理鳥獣捕獲等事業で捕獲したイノシシについては、  
冷凍施設で冷凍保管後、既存の一般廃棄物処理施設へ搬入、破砕機で細断  
後、焼却処理を行う。

(注) 適切な処理施設での焼却、捕獲等をした現場での埋設等、捕獲等をし  
た鳥獣の処理方法について記入する。

8. 捕獲等をした対象鳥獣の食品・ペットフード・皮革としての利用等その有  
効な利用に関する事項

(1) 捕獲等をした鳥獣の利用方法

|                                                  |                                                                        |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 食品                                               | 現在イノシシは、国から出荷制限指示が出されてお<br>り、当面の間、捕獲した対象鳥獣の食品及びその他加<br>工品としての利用は困難である。 |
| ペットフード                                           | 現在イノシシは、国から出荷制限指示が出されてお<br>り、当面の間、捕獲した対象鳥獣の食品及びその他加<br>工品としての利用は困難である。 |
| 皮革                                               | 現在イノシシは、国から出荷制限指示が出されてお<br>り、当面の間、捕獲した対象鳥獣の食品及びその他加<br>工品としての利用は困難である。 |
| その他<br>(油脂、骨製品、角<br>製品、動物園等で<br>のと体給餌、学術<br>研究等) | 現在イノシシは、国から出荷制限指示が出されてお<br>り、当面の間、捕獲した対象鳥獣の食品及びその他加<br>工品としての利用は困難である。 |

(注) 利用方法ごとに、現状及び目標を記入する。

(2) 処理加工施設の取組

|  |
|--|
|  |
|--|

(注) 処理加工施設を整備する場合は、年間処理計画頭数、運営体制、食品  
等としての安全性の確保に関する取組等について記入する。

(3) 捕獲等をした対象鳥獣の有効利用のための人材育成の取組

|    |
|----|
| なし |
|----|

(注) 処理加工に携わる者の資質の向上や、捕獲から搬入までの衛生管理の  
知識を有する者の育成の取組等について記入する。

9. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

|              |                                 |
|--------------|---------------------------------|
| 協議会の名称       | 三春町鳥獣被害対策協議会                    |
| 構成機関の名称      | 役割                              |
| 三春町          | 事務局を担当し、協議会運営に関する連絡・調整を行う。      |
| 三春町鳥獣被害対策実施隊 | 有害鳥獣関連の情報提供、有害鳥獣の捕獲を行う。         |
| 福島さくら農業協同組合  | 有害鳥獣関連の情報提供、被害防止対策の指導を行う。       |
| 福島県農業共済組合    | 有害鳥獣関連の情報提供、被害防止対策の指導を行う。       |
| 福島県鳥獣保護管理員   | 有害鳥獣関連の情報提供、鳥獣の保護及び管理に関する業務を行う。 |

(注) 1 関係機関等で構成する協議会を設置している場合は、その名称を記入するとともに、構成機関欄には、当該協議会を構成する関係機関等の名称を記入する。

2 役割欄には、各構成機関等が果たすべき役割を記入する。

(2) 関係機関に関する事項

|                                           |                                             |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 東北農政局<br>福島県拠点                            | 有害鳥獣関連の情報提供、被害防止技術の情報提供を行う。                 |
| 福島県県中地方振興局<br>県民環境部                       | 有害鳥獣関連の情報提供、鳥獣の保護及び管理、捕獲に関する情報提供、助言及び指導を行う。 |
| 福島県県中農林事務所<br>農業振興普及部<br>森林林業部<br>田村農業普及所 | 有害鳥獣関連の情報提供、被害防止技術の情報提供、助言及び指導を行う。          |

(注) 1 関係機関欄には、協議会の構成機関以外の関係機関等の名称を記入する。

2 役割欄には、各関係機関等が果たすべき役割を記入する。

3 協議会及びその他の関係機関からなる連携体制が分かる体制図等があれば添付する。

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

|                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鳥獣被害防止特措法第9条第1項及び三春町鳥獣被害対策実施隊設置条例に基づき設置する。<br>福島県猟友会田村支部三春分会の会員のうち、三春町鳥獣被害防止計画に基づく被害防止施策の実施に積極的に取り組むことが見込まれ、かつ分会が推薦する者のうちから、町長が任命する。隊員数は40名以内とす |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

る。

- (注) 1 被害状況を勘案し、鳥獣被害対策実施隊を設置する必要があると認める場合は、その設置に関して設置に向けた基本的な方針や検討の状況、設置予定時期等について記入する。
- 2 鳥獣被害対策実施隊を設置している場合は、鳥獣被害対策実施隊が行う被害防止施策、その規模、構成、農林漁業者や農林漁業団体職員、地域住民等の多様な人材の活用策等を記入するとともに、実施体制がわかる体制図等があれば添付する。

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

なし

- (注) 将来的な被害防止対策の実施体制の維持・強化の方針その他被害防止施策の実施体制に関する事項（地域の被害対策を企画・立案する者の育成・確保や現場で対策を実施する者の知識・技術の向上等の被害対策に関する人材育成の取組を含む。）について記入する。

10. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

なし

- (注) 近隣市町村と連携した広域的な被害防止対策等その他被害防止施策の実施に関し必要な事項について記入する。